

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1005 号	氏名	Sharmina Deloer
学位審査委員	主 査	由井 克之	
	副 査	中込 治	
	副 査	西田 教行	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、腸赤痢アメーバ症に対する防御免疫応答における IL-17A の役割を解明しようとしたものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 赤痢アメーバ原虫に感染性の遺伝子背景を有する IL-17A 遺伝子欠損マウスを用い、<i>Entamoeba histolytica</i> の盲腸内接種モデルにおいて病理組織、原虫数、サイトカイン発現などを解析しており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、IL-17A 遺伝子欠損マウスでは野生型マウスに比べ赤痢アメーバ原虫感染数の低下、盲腸組織の炎症からの早期回復、IFN-γ 産生増加、IL-4 発現低下の起こることを明らかにし、IL-17A が赤痢アメーバ症の持続感染に寄与する可能性を示した。赤痢アメーバ症に対する宿主防御免疫応答機序の解明へ進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は感染免疫学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			